

海外安全対策情報（2014年7月～9月）

1. 社会・治安情勢

本年2月、当国では「総会（Plenum）」と呼ばれる市民団体等による比較的大規模な反政府デモがBH各地で発生し、参加者の一部が政府庁舎への投石、放火等に及んだが、その緊張感は次第に薄まった。その後も、市民による抗議活動が行われる頻度は高まったものの、いずれも比較的小規模かつ平和裏に実行されており、最近では治安及び交通機関に顕著な影響を与えた事例はない。

5月中旬に当国を襲った洪水では、BH全土で25名が死亡、約9万人が何らかのかたちで避難し、そのうち4万人は避難生活を強いられた。物的被害としては、個人の住居、インフラ設備や農業分野が壊滅的な影響を受けた。また、洪水及び地滑りによって、地雷及び地雷原標示が流出し、地雷の正確な位置情報が掴めなくなるといった問題も発生した。

当国の国政選挙を10月に控え、選挙戦に向けた民族間の緊張の高まりも懸念されたが、9月の公示日以降の選挙キャンペーンは比較的穏便に行われており、選挙に関連した重大事件は発生していない。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

一般治安情勢については、国内で強盗事件や発砲事件がほぼ毎日のように発生しており、手榴弾等による爆破事件も散発的に発生している。また、窃盗事件は特に多く、特に夏季は当地の観光シーズンでもあり、日本人観光客及び在留邦人がサラエボ市内及びモスタル市内の観光地でスリや強盗に遭う事案も複数件発生している。

3. 邦人被害事案

（1）8月上旬、邦人旅行者がサラエボ市内旧市街の「水飲み場」から高台に向かっていたところ、男性から写真を撮ろうと声をかけられてカメラを手渡した直後、別の男性が現金を出すよう上着の中のピストルを見せながら要求してきた。所持していた現金を渡したところ、男らは現金とカメラを持って逃走した。

（2）8月中旬、邦人旅行者がサラエボ市内散策中に財布のスリ被害に遭った。

（3）8月中旬、邦人旅行者がサラエボ市内の旧共和国議会ビル前から旧市街行きのトラムに乗車中、何者かに携帯電話を盗まれた。

（4）8月下旬、モスタルで邦人旅行者がパスポートの盗難被害を受けた。

（5）9月中旬、サラエボ市内の中央バス駅で邦人旅行者がバスのチケットを購入しようとしていたところ、数人の児童らにまとわりつかれ、その後で気付いたら携帯電話が盗まれていた。

（6）9月中旬の夕方頃、サラエボ市内で、停車中の邦人の車の窓ガラスが割られ、車中の現金を盗まれた。

4. 邦人以外の被害事案

(1) 7月上旬、午前8時頃、バニャ・ルカの「Nova Banka」銀行に2人の男性が押し入り、現金約4,000 KMを奪って逃走した。

(2) 7月中旬、2人の覆面をした男性がモスタルの「Sparkasse Bank」銀行に銃を持って押し入り、現金を奪って逃走した。

(3) 7月下旬、午前3時頃、サラエボ市旧市街地区の Ferhadija 通りで、口論が発展した発砲事案があり、2名が負傷した。

(4) 8月上旬、午後、サラエボ市内の旧市街地区で、警察から逃走中の男性が Obala Kulina Bana 通りで発砲。本人は警察の発砲により負傷したが、他に怪我人はなし。発砲した男性は逮捕された。

(5) 8月上旬、サラエボ市内ノボ・サラエボ地区の Dolac Malta のバス停で、バス運転手と乗客が口論となり、乗客がナイフによりバス運転手を攻撃、バス運転手を助けようとした別の乗客が負傷した。

(6) 8月上旬、21時頃、サラエボ市内イリジャの Nikole Sopa 通りにある賭博場に、銃を持った男性が押し入り、現金を奪って逃走、その際に屋外に向けて発砲した。

(7) 8月中旬、サラエボ市内ドブリニャの Kasima Prohica 通りの駐車場で、武装した集団が警備員を捕らえ、周囲にいた人々を地面に伏せさせたうえで高級車2台を盗難する事案が発生した。

(8) 8月中旬、朝方、コトル・バロスで、覆面をし、武装した男性3人が「Unicredit Bank」銀行に押し入り、警備員及び銀行支店長に危害を加えて現金を奪ったうえで逃走した。

(9) 9月上旬、14時頃、サラエボ市内中央区 Nova 通りで、通行人の男性がナイフにより刺される事件が発生した。

(10) 9月上旬、夜、サラエボ市内イリジャの Osik 通り沿いの老齢の女性の自宅に何者かが押し入り、女性を複数箇所ナイフで刺し、顎を骨折させて逃走した。

(11) 9月上旬、午前4時頃、サラエボ市内イリジャの Trg Oteskog Bataljona 通りと Fadila Hadzica 通りで発砲事件があり、通行人が負傷した。

(12) 9月下旬、午後5時頃、サラエボ市内ボゴシチャ地区の Ramiza Alica 通りで結婚式の車列に加わっていた男性が発砲を受けて負傷した。

5. テロ・爆弾事件発生状況

(1) 7月上旬、14時頃、パレのショッピングセンター「Tom」の前で手榴弾が爆発し、2名が負傷した。

(2) 8月下旬、午前3時頃、サラエボ市内ノボ・サラエボ地区の Dervisa Numica 通り沿いの喫茶店に手榴弾が投げ込まれ、その爆発で壁のガスパイプが損傷する事案が発生。本件による負傷者はなし。

(3) 8月下旬、午後11時頃、サラエボ市内ボゴシチャの Ferida Merzuka 通りのホテル「Sunce」付近で、何者かが手榴弾を爆発させる事案があった。現場では、更にもう一つ、不発に終わった手榴弾が発見された。本件による負傷者はなし。

（４）９月上旬、午前１時頃、サラエボ市内ノボ・サラエボ地区の Hasana Brkica 通りのカフェ「Jesenjin」に何者かが手榴弾を投げ込み、負傷者が出た。同カフェのオーナーは、長期にわたって脅迫されていた模様。

6. 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。